排出状況報告書（特定大規模事業者用）

2024 年 7 月 30 日

神奈川県知事殿

郵便番号 105 - 8527
住 所 東京都港区海岸1-5-20
氏 名 東京ガスネットワーク株式会社
代表取締役社長 沢田 聡

神奈川県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名	東京ガスネットワーク株式会社 代表取締役社長 沢田 聡				
事業者の住所又は主たる事務所の所在地	東京都港区海岸1-5-20				計画対象
特定大規模事業者の区分	☒ 年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計量	1,396 k1		
	☐ 連鎖事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）		うち 156 k1		○
	☒ 対象自動車を100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	使用台数	201 台		
			うち 37 台		○
主たる事業の業種	大 分 類	☐ A 農業、林業 ☐ B 漁業 ☐ C 鉱業、採石業、砂利採取業 ☐ D 建設業 ☐ E 製造業 ☒ F 電気・ガス・熱供給・水道業 ☐ G 情報通信業 ☐ H 運輸業、郵便業 ☐ I 卸売業、小売業 ☐ J 金融業、保険業 ☐ K 不動産業、物品賃貸業 ☐ L 学術研究、専門・技術サービス業 ☐ M 宿泊業、飲食サービス業 ☐ N 生活関連サービス業、娯楽業 ☐ O 教育、学習支援業 ☐ P 医療、福祉 ☐ Q 複合サービス事業 ☐ R サービス業（他に分類されないもの） ☐ S 公務（他に分類されるものを除く）			
	中 分 類	F 34 ガス業			
連 絡 先	部 署 名	人事総務部 総務広報・渉外グループ			
	電 話 番 号	03 - 5400 - 3128			
	F A X 番 号	-			
	電子メールアドレス	nishimo@tokyo-gas.co.jp			

※ 受 付 欄		※ 特 記 欄	<書類作成を委託した場合の連絡先> 社名： 部署名： 担当者名： 電話番号： 電子メールアドレス：
------------------	--	------------------	--

2 計画期間

2023 年度	～	2027 年度	報告対象年度	2023 年度
---------	---	---------	--------	---------

3 エネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	2022 年度 (年度～ 年度)		最終年度における排出量の合計量	(基)	491	tCO ₂
	基準排出量の合計量	(基)	517		(調)	486	
報告対象年度における排出量の合計量	(基)	265	tCO ₂				
	(調)	97					
県内に設置している全ての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位			
	基準年度における排出量原単位	(基)		最終年度における排出量原単位	(基)		
	報告対象年度における排出量原単位	(調)			(調)		
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p><CO2排出量/排出量原単位の前年度からの増減率> 今年度のCO2排出量は、前年度に対して49%減少した。</p> <p><主な増減理由> ●CO2排出量 ・組織変更に伴い、支店・支社機能が東京ガス㈱へ編入されたため。 ・購入電力が東京電力エナジーパートナー㈱から東京ガス㈱の低炭素メニューへの移行が進んだため。</p> <p><報告対象年度に実施した主な削減対策> ・購入電力先を東京電力エナジーパートナーから東京ガス㈱の低炭素メニューへの移行。</p> <p><今期の達成見込み> ・今季の削減目標達成の見込みはたっていないが、より一層の取組により目標達成を目指す。</p>						

設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(基)	tCO ₂	最終年度における排出量の合計量	(基)	tCO ₂
		報告対象年度の排出量の合計量	(調)		(調)		
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
		基準年度における排出量原単位	(基)		最終年度における排出量原単位	(基)	
	報告対象年度における排出量原単位	(調)			(調)		

4 エネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標 (規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用している全ての対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	2022 年度 (年度～ 年度)		最終年度における排出量の合計量	95 tCO ₂		
	基準排出量の合計量	100	tCO ₂				
	報告対象年度における排出量の合計量	101	tCO ₂				
県内で使用している全ての対象自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位			
	基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位			
	報告対象年度における排出量原単位						
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p><CO2排出量/排出量原単位の前年度からの増減率> 今年度のCO2排出量は、前年度に対して1%増加した。</p> <p><主な増減理由> ●CO2排出量 ・ガソリン車の使用台数が13台減となるも、走行距離全体は微増、給油量は増加している。これはガス工事現場への立会い業務が増加し、また併せて、車内における待機時間が増えたため。</p> <p><報告対象年度に実施した主な削減対策> ・テレマティクスを活用したエコドライブを全社的に展開。</p> <p><今期の達成見込み> ・今期の削減目標達成の見込みはたっていないが、より一層の取組により目標達成を目指す。</p>						
対象自動車の使用状況	使用台数			割合			
	総数	37 台					
	うち電気自動車			0.00 %			
	うち天然ガス自動車			0.00 %			
	うちハイブリッド自動車			0.00 %			
	うちディーゼル代替LPガス自動車			0.00 %			
使用している全ての自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	自動車における排出量	基準排出量の合計量		tCO ₂	最終年度における排出量の合計量		tCO ₂
		報告対象年度における排出量の合計量		tCO ₂			
	自動車における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
		基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位		
		報告対象年度における排出量原単位					

5 エネルギー管理指定工場等ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標

(1) 工場等の名称等

工場等の名称			
工場等の所在地	神奈川県		
工場等の規模	建築物の延べ面積		m ²
連絡先	部署名		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
	電子メールアドレス		

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準排出量	(基)	tCO ₂	最終年度における排出量	(基)	tCO ₂
	報告対象年度における排出量	(基)	tCO ₂			
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
	基準年度における排出量原単位	(基)		最終年度における排出量原単位	(基)	
	報告対象年度における排出量原単位	(基)				
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p><CO2排出量/排出量原単位の前年度からの増減率> 今年度のCO2排出量は、前年度に対して□%減少（増加）した。 今年度の排出量原単位は、前年度に対して□%改善（悪化）した。</p> <p><主な増減理由></p> <p>●CO2排出量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～したため。 ・～したため。 ・～したため。 <p>●排出量原単位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の増減理由に同じ。 ・原単位指標である****がCO2排出量以上に増えた（減った）ため、原単位は改善（悪化）した。 ・～したため。 <p><報告対象年度に実施した主な削減対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 					

- 備考 1 ※印の欄は、記入しないでください。
 2 □のある欄には、該当する□内にレ印又は■を付してください。
 3 報告対象年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類（規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごと。）を添付してください。